

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう網干

公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		運動室とプレイルームを分けてスペースの確保をしている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	全ての利用者の見守りが出来るように職員が分かれて見守っています。	当日の利用人数に応じて配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	床がモルタルにダイレクトにカーペットを敷いているので運動スペースのみ走ってもよいとしている。プレイルームと運動室に分かれています。	各部屋に何をやる部屋かを視覚的に分かりやすく提示している。随時必要な情報があれば、提示したり工夫をしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	設備が古くなってきているので、清潔に保てるようにしている。(キッチン、トイレ等)利用者の降後、必ず清掃を行っています。	カーペット敷きなので子どもの食べこぼしや吐しゃ物の跡を迅速に清掃し、清潔な環境が保てるよう気を付けていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	クールダウン時に必要な空間を確保している。パーティションを利用して、空間を分けることが可能になっています。	引き続き、クールダウン時に使用できる部屋やパーティションを使用できる環境を用意しておく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		支援後や行事終了時に振り替えることができる。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員会議等を通して周知できるようにしています。	意見と共有し、会議を行って改善につなげられるよう案を出し合っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	その都度対応できるような体制づくりを心掛けている。職員会議やカンファレンスを毎月行っています。	朝礼時や職員会議で意見を把握する機会を設けている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		行っていない。第三者や外部の方にご指摘やアドバイスをされた際には改善に努めている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	研修等には必ず参加できるように心掛けている。毎月行われている研修に参加しています。	月に1回行われている。全体研修や管理者研修、3年目までの職員の為の研修もある。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	個別支援計画書の目標に合わせて支援しています。	引き続き、個別支援計画書の目標に合わせて支援を行っている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		アセスメントやモニタリングでの情報から個々にあった計画を作成している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	申し送りノートを活用し、非常勤職員も内容を確認できるようにしています。また、カンファレンス等を通して利用者の様子を振り返り、全職員に共有できるように努めています。	子どもにとってスモールステップ・成長に繋がることを常に考えて、カンファレンスを行い計画の作成、支援を行っている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	申し送りノートを活用し、朝礼でも内容を再確認できるように話し合いを行っています。	引き続き、申し送りノートの活用をしていく。朝礼でも再確認できるように話し合っていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	子どもたちの日々の変化を見逃さず、職員間で共有しています。	日々の記録やカンファレンスでアセスメントを行い、その内容は個人ファイルにある為、職員が確認できるようにしている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	子どもの成長に合わせた計画書として作成されています。	「地域支援・地域連携」に関しては取り入れることが難しいが、課題として少しずつ進められるようにしていきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員会議などで職員全員が参加し、話し合いを通して計画を立案・設定しています。	なるべく多くの職員が参加できる日に設定して月に1回会議を行い、話し合っている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	前年度およびそれ以前のプログラムを確認し、改善や工夫を行っています。	過去の活動を参考にし、子どもたちの意見を取り入れながら工夫している。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	計画書に沿って支援を行っており、専門的支援の実施においては個別活動も行っています。	学習の時間には個人の課題や作業に取り組み、運動やレクリエーションで集団の活動を取り入れている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日朝礼を実施し、配慮すべき事項を必ず確認したうえで職員間で共有しています。	正社員は朝礼時に共有・その日の役割を決めて、非常勤職員は朝礼時に作成したノートを見て支援を行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	送迎時にご家庭から伝えられた内容は、速やかに職員間で共有できるようにしています。	その日の支援の事や送迎時にお聞きした情報を共有している。
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		必ずその日のうちに記録をとり、次の支援に活かせるよう話し合いをしている。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	子どもの成長に応じて、計画書を見直しています。	定期的に(6か月に1回)計画書の見直しを行い、よりよい支援のために新しい計画書の作成ができています。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		季節や行事に合わせた活動を取り入れている。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもが自己決定できるよう、職員が適切に促しています。また、自分で選択できる支援を心がけ、失敗も学びの経験として活かせるよう配慮しています。	自己選択の大切さや、「もし失敗してもいつでも助けてあげるよ」と安心できる声掛け等で自分で考えて、決定できる機会が増えるように支援していきます。	
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	事前に準備を行ったうえで、参加しています。	児童発達管理責任者が中心となって参加している。参加する前には、事前に職員で最近の様子や気になることを話してまとめて参加している。	
27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		協力医療機関との連携ができています。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	必要に応じて情報共有を行い、保護者や学校の先生と適宜やり取りをしています。	行事予定表を頂いたり、学校の一覧表によってすぐに連絡が取れるようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		相生の児童発達から利用して下さる方が多く、様子を聞いたり、計画書や報告書を共有してもらっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		相談支援事業所とのモニタリングや計画書、報告書にて情報共有ができています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		研修などが開催された時には、できるだけ参加できるようにする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこともと活動する機会があるか。	6	1	地域のサッカーチームに参加し、チームと一緒に練習する機会を持つことで、子どもたちが楽しむことができました。	サッカー教室に参加させてもらった。今後も地域の方との交流が広がるような活動や行事ができればと考えていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		参加できるように努めています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時にその日の様子を保護者に伝えるよう心がけ、常に職員間で共通理解を図れるよう努めています。	引き続き、送迎時にその日の様子を伝えたり、常に共通理解を図ることができる信頼関係が築けるよう努めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加ができる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	家族参観を計画しています。親子運動会を実施しました。	家族参観や就労に関する研修は過去にもあり、今後も機会が作れるよう検討している。
	36	運営規程、支援プログラムの、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		重要事項説明書に沿って説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者や児童の話丁寧な傾聴することを心がけています。	本人支援や家族支援がより良くできるよう日々の支援中や送迎時、モニタリング時に意向を確認している。
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者や関係者に対して、丁寧に説明できるよう心がけています。	引き続き、ご理解して同意を得られるよう丁寧に説明していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	事業所以外での様子についても、保護者からお聞きすることがあります。	送迎時にお聞きすることもあり、その場で答えられる範囲で助言を行ったり、支援に繋げている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	家族交流会として機会を設けています。	毎年開催している。色んなご家族の方との交流やきょうだい向けのイベントの開催を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	管理者やエリアマネージャーに報告するとともに素早い対応ができるようにしています。	即時に対応し、職員間で共有している。引き続き、管理者やエリアマネージャーに報告するとともに迅速な対応ができるようにしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	行事予定表や長期休みにはしおりを作成し、配布しています。	夢だよりや夢通信、長期休み時にはしおり、ブログの掲載を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		外部に漏れることがないように十分気を付けている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		子どもとは一人一人に合わせたコミュニケーションで意思疎通を図っている。送迎時に報告したり、必要に応じて連絡帳や電話で対応している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		地域との交流を検討したい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		契約時に各対応を説明し周知できている。社内研修の中で想定した訓練や避難訓練をしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	避難訓練を行っています。	避難訓練(年2回)を行い、子どもたちの活動前にも職員間で避難方法や場所を確認している。
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		変更があった時には保護者の方からお聞きし、職員間で共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	全職員に周知しています。	周知ができている上で、クッキングや食材を扱う際には再確認をして行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		避難訓練(年2回)や点検は定期的にできている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		避難訓練を行う際には夢通信でお知らせしている。行った後は夢だよりで掲載している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットの内容をメモして共有しています。	その都度共有し、再発防止に向けた案を出し合い同じことが繰り返されないように気を付けています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	社内研修が必ずあるので参加しています。	今後も会社主催の虐待防止研修に参加し、適切な対応できるよう努めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	該当者はなし。	事例がないため。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
子どもファーストに考え、居心地の良い場所作りに努めています。また、職員間も連絡事項など共有し、風通しの良い職場づくりを心がけています。保護者から相談についても、管理者や児童発達支援管理責任者につなぐことができます。						